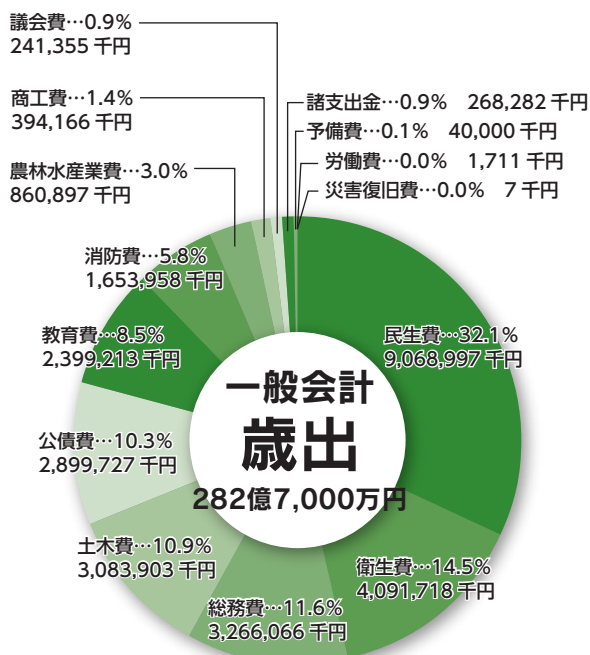


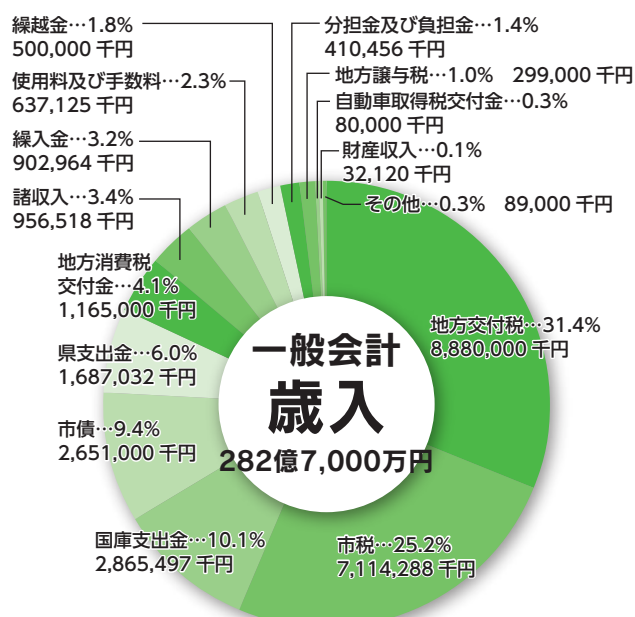
歳出

一般会計当初予算における目的別歳出では、民生費が多く、全体の32.1%で、児童手当等の支給や福祉サービスなどに充てられます。続く衛生費は14.5%で市民の健康やごみ処理などの公衆衛生に充てられます。総務費は11.6%で庁舎管理やコミュニティバスの運営などに充てられます。土木費は10.9%で津波避難道路、道路排水路の整備などに充てられます。公債費は市の借金で、全体の10.3%となっています。教育費は全体の8.5%で小中学校の改修などに充てられます。



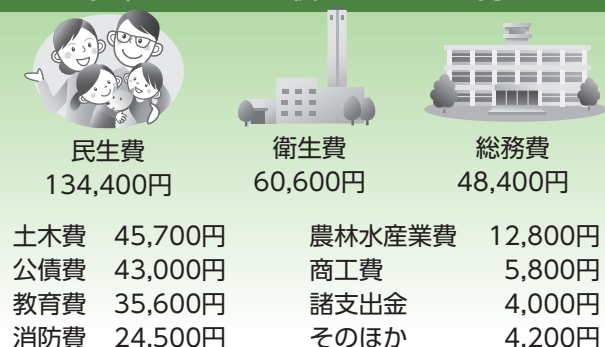
歳入

市税は71億1,428万8,000円で、前年度と比べ1億1,129万8,000円(1.6%)の増の見込みです。地方交付税88億8,000万円のうち78億円の普通交付税は、前年度と比べ1億円(1.3%)の減額。10億8,000万円の特別交付税は、東日本大震災復興交付金関連事業の増により前年度と比べ8,000万円(8.0%)の増額としています。国庫支出金は、前年度と比べ6,021万7,000円(2.1%)の増。国庫支出金の主なものは、児童手当負担金、生活保護費負担金、障害者自立支援給付費等負担金、子どものための教育・保育給付費負担金などです。県支出金は前年度と比べ、8,725万2,000円(5.5%)の増額としました。



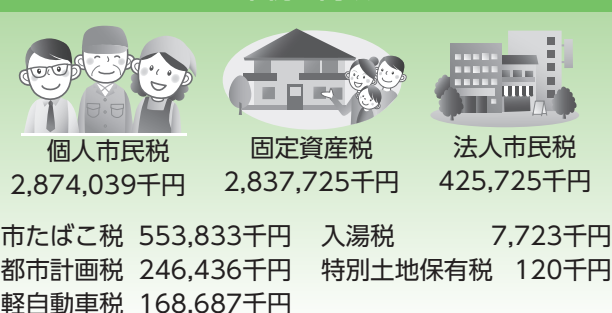
市民1人当たりに使われるお金
419,000円 ※1,000円未満四捨五入
 (一般会計予算額282億7,000万円÷人口67,528人)

市民1人当たりに使われるお金の内訳



市民1人当たりが納める市税
105,000円 ※1,000円未満四捨五入
 (市税予算額7,114,288千円÷人口67,528人)
 人口67,528人(H28年3月1日現在)

市税の内訳



消費税率と地方消費税率の引き上げ分は、社会保障関係経費に活用

平成26年4月1日からの消費税率引き上げ(5%⇒8%)に伴う地方消費税交付金の増収分は、高齢者、障害者、児童の福祉など社会保障施策に要する経費に充当しています。

〈歳入〉引き上げ分の地方消費税収入(地方消費税交付金): 4億6,500万円

〈歳出〉社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費: 106億6,623万円

充当する主な経費 ○国保事業会計、介護事業会計などへの一般会計繰出金の一部に充当。

○子ども・子育て支援新制度に伴う事業費の一部に充当。

平成28年度当初予算

一般会計予算は282億7、000万円

平成28年度の当初予算が市議会第1回定例会で決まりました。予算の総額は501億6、359万2、000円、旭中央病院の地方独立行政法人化に伴い、企業会計から病院事業が除かれたため、前年度と比べ340億9、652万4、000円(40・5%)の減となりました。

内訳は、一般会計が282億7、000万円、特別会計は6会計を合わせて196億8、800万円、企業会計は水道事業の1会計で、22億559万2、000円です。

一般会計の概要

歳入面では、歳入総額に占める割合の最も高い普通交付税において、平成28年度から国の財政支援策の一つである合併算定替の段階的縮減が始まることから、今後の歳入をめぐる環境は徐々に厳しくなるものと見込まれています。

歳出面においては、子育て支援施策をはじめとした人口減少対策事業や合併関連事業、災害に強い地域づくりのための復興関連事業などで事業費が増加しており、また旭中央病院の地方独立行政法人化に伴う共済費負担金の計上などにより、予算総

額は増となる見込みです。

誰もが住み続けたいと思えるまちを目指す「旭市総合戦略」の将来都市像「郷土愛からつなぐ未来」ずっと大好きなまち旭」の実現に向け、戦略的に推進していくための4つの基本目標に掲げる各種施策を着実に推進し、市民生活の向上と地域経済の活性化を図るために編成した平成28年度の一般会計予算は、前年度より8億9、000万円(3・3%)増の282億7、000万円となりました。

問い合わせ先
財政課財政班

☎ 62・5316

予算の規模

(単位：千円)

会計名		年度	平成28年度 当初予算 ①	平成27年度 当初予算 ②	比較増減	
					増減額 ①-② ③	増減率 ③/②
一般会計			28,270,000	27,380,000	890,000	3.3%
特別会計	国民健康保険事業 (事業勘定)		10,848,000	10,402,000	446,000	4.3%
	国民健康保険事業 (施設勘定)		92,000	87,000	5,000	5.7%
	後期高齢者医療 介護保険事業		563,000	513,000	50,000	9.7%
	下水道事業		4,734,000	4,612,000	122,000	2.6%
	農業集落排水事業		568,000	610,000	△42,000	△6.9%
	病院事業債管理		129,000	52,300	76,700	146.7%
	小計		2,754,000	0	2,754,000	皆増
	小計		19,688,000	16,276,300	3,411,700	21.0%
企業会計	水道事業	収益的支出	1,442,621	1,454,594	△11,973	△0.8%
		資本的支出	762,971	252,196	510,775	202.5%
		計	2,205,592	1,706,790	498,802	29.2%
	病院事業	収益的支出	独立行政法人移行	35,731,810	△35,731,810	皆減
		資本的支出		3,165,216	△3,165,216	皆減
		計		38,897,026	△38,897,026	皆減
	小計		2,205,592	40,603,816	△38,398,224	△94.6%
	合計		50,163,592	84,260,116	△34,096,524	△40.5%

用語の解説

一般会計／市の基本的な行政を行うための会計。行政サービスのほとんどが、この一般会計で賄われます。

特別会計／国民健康保険のように、特定の収入を特定の支出に充てて事業を行う場合などに、一般会計と区分して経理する会計。

企業会計／地方公共団体が経営する独立採算を原則とする事業を経理する会計。



本年度の予算
を紹介します

旭市
イメージアップ
キャラクター
「あさピー」



文化事業で展示された作品の数々

(新) 認定こども園施設型給付事業…………… 200,040千円

就学前児童の教育・保育の質の向上を図るため、認定こども園を利用する児童に、その教育・保育に掛かる費用を給付する。

(新) 親と子どもの絆プロジェクト事業…………… 2,324千円

児童の豊かな心を育むことを目的とし、市内の保育所、幼稚園や認定こども園などが、自ら企画する「親と子どもの絆プロジェクト事業」に要する経費を助成する。

幼稚園就園奨励事業…………… 24,064千円

私立幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担を軽減し、幼児教育の充実や振興を図るため、補助金を交付する。

小学校大規模改造事業…………… 91,549千円

教育環境の改善を図るため、学校建物の損耗・機能低下に対する改修や耐震化などの大規模な改修を行う。

中学校大規模改造事業…………… 173,909千円

教育環境の改善を図るため、学校建物の損耗・機能低下に対する改修や耐震化などの大規模な改修を行う。

放課後児童クラブ運営事業…………… 92,087千円

児童の健全な育成と事故防止を図るため、下校後、家庭において適当な保護を受けられない児童の生活指導を行う。

中学校教諭補助員配置事業…………… 9,564千円

個に応じた教育の充実や基礎基本の定着を図り、学校生活の充実を目指すため、中学校教諭補助員を全校に配置する。

文化振興事業…………… 15,772千円

市民文化の向上を図ることを目的として、日ごろ接する機会の少ない優れた文化・芸術に触れる場の提供や、市民の主体的な文化活動を支援する。

大原幽学遺跡史跡公園管理費…………… 13,883千円

国指定史跡の大原幽学遺跡史跡公園内の管理、史跡内の国県指定文化財住宅などの修繕や維持管理などを行う。

2 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

子育て支援の充実、地域福祉の充実、学校教育や生涯学習充実のための事業など

特定不妊治療費助成事業…………… 3,808千円

医療保険の対象外で高額な治療費を要する「特定不妊治療」に掛かる費用の一部を助成する。

臨時福祉給付金給付事業…………… 79,519千円

消費税率の引き上げに伴い、暫定・臨時的な措置として臨時福祉給付金を給付する。また「一億総活躍社会」の実現に向け、個人消費の下支えに資するよう年金生活者等支援臨時福祉給付金を給付する。

重度心身障害者(児)医療費助成事業…………… 132,020千円

重度心身障害者の生活の安定を図るため、医療費の一部を助成する。

自立支援給付事業…………… 1,207,369千円

障害者の自立を図るため、障害者総合支援法に基づき、各事業を実施する。

子ども医療費助成事業…………… 198,820千円

子どもの保健対策の充実と、保護者の経済的負担の軽減を図るため、子どもの医療に要する費用の全部または一部を助成する。

(拡) 出産祝金支給事業…………… 39,950千円

市民の出産を奨励し、祝福する祝金を支給する。本年度より対象を第2子まで拡大する。

乳幼児紙おむつ給付事業…………… 36,809千円

子育て家庭の経済的負担の軽減と生活の安定を図るため、紙おむつ購入券を配布する。



園庭で遊戯をする子どもたち

平成28年度当初予算

平成28年度の主な事業

「旭市総合戦略」4つの基本目標に基づく事業

平成28年度当初予算の主な事業を「旭市総合戦略」の4つの基本目標ごとに紹介します。

(拡)…拡大事業

(新)…新規事業



大勢の人でにぎわう旭市七夕市民まつり

水田農業構造改革推進事業…………… 77,171千円

米を取り巻く環境の変化に対応して、需要に即した米作りを推進して水田農業経営の安定と発展を図る。また国の経営所得安定対策による水田フル活用を図るために、飼料用米などの戦略作物の栽培に各種支援を行う。

園芸生産強化支援事業…………… 135,313千円

生産力や品質の向上、省力化に必要な施設や機械などの整備を支援する。

農業基盤整備事業…………… 66,641千円

農地の利用集積などによる担い手の育成を図るため、農地の大区画ほ場整備と併せて、農業用排水路や農道の整備を行う県営土地改良事業を推進する。

農業水利施設改修事業…………… 25,150千円

農業生産基盤整備の一環として、老朽化や破損により機能低下した農業用排水施設の長寿命化や改修を推進するため、これらの事業に取り組む団体に助成する。

1 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり

農水産業の振興、商工業の振興、観光振興のための事業など

商業活性化推進事業…………… 24,050千円

消費者の購買意欲喚起と顧客の拡大を促すため「プレミアム旭市共通商品券」を発行する。また商店街の活性化・商業振興を図るため、空き店舗活用のための改修費や賃借料、商店街が実施するイベントや環境整備などに助成する。

旭市特産品開発事業…………… 5,497千円

特色を生かした土産物や地域の食材を使用した調理品などの開発をする人に、補助金を交付する。

観光資源創出プロモーション事業…………… 6,860千円

観光産業の振興と地域経済の活性化を図るため、旭市の新たな観光資源を創出し、全国へ向けて積極的にPRする。

観光イベント事業…………… 23,180千円

観光の振興と地域の活性化を図るため、各種イベントの開催に対して支援を行う。



水稻の作付けの準備



地域の防災拠点となる消防庫

津波避難施設整備事業…………… 213,160千円

東日本大震災の津波による被害を踏まえ、市民の生命を守り、災害に強いまちづくりを目指すため、津波避難施設の整備を行う。

「がんばろう！旭」復興支援事業…………… 8,920千円

さまざまな交流の活性化とコミュニティの再生を図るため、各種団体が行う復興事業に対し補助などを行う。

電算システム運用事業…………… 312,921千円

市電算システムの賃借や保守を行う。また社会保障・税番号制度の導入に必要な改修を行う。

行政改革推進費…………… 4,113千円

人口減少と少子高齢化の進行などにより、財政状況が一段と厳しくなることが見込まれる中、必要な市民サービスを継続的に提供していくため、行財政改革を推進する。また公共施設等総合管理計画を策定する。

住民基本台帳事務費…………… 10,756千円

住民基本台帳法などに基づき、住民記録などの適正な管理と各種証明書の発行を行う。また平成27年に開始したマイナンバー制度に関連する事務の適正な執行を行う。

消防車両整備事業…………… 283,034千円

消防力の充実強化を図るため、老朽化したはしご付消防車や消防ポンプ車、高規格救急車を更新する。

消防庫整備事業…………… 43,690千円

消防団活動を支援し地域防災拠点として活用するため、消防団再編(統合)や老朽化が顕著な消防庫を計画的に整備する。

消防団車両整備事業…………… 46,266千円

消防団の防火・防災体制の強化を図るため、消防団車両更新計画に基づき車両の更新などを行う。

震災復興・津波避難道路整備事業…………… 759,771千円

震災で津波被害を受けた地域における避難道路の整備や、被災地域の復興のため重要路線を整備する。

きょうりょう

橋梁長寿命化修繕事業…………… 49,140千円

橋の長寿命化によるコスト削減を図るため、策定した長寿命化修繕計画に基づき、橋梁維持補修工事を実施する。

公園維持管理費…………… 86,231千円

都市公園などの公園施設の充実を図るため、公園の利用形態や設置目的に合った維持管理を行う。

(新)住宅リフォーム補助事業…………… 5,000千円

市民の居住環境の向上と、市内の経済活性化を目的として、市民が市内施工業者を利用して行ったリフォームに対し補助を行う。

4 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり

震災からの復興、防災力の強化、行政経営推進のための事業など

新庁舎建設事業…………… 24,376千円

庁舎の老朽化、分散化による維持管理費の増大、耐震性能の問題などを解消するため、新庁舎建設に向けた基本計画などを策定する。

一部事務組合等負担金…………… 1,026,458千円

千葉県市町村職員互助会、地方公務員災害補償基金、千葉県市町村職員共済組合(旭中央病院分)、千葉県市町村総合事務組合へ負担金を支払う。



住民が参加しての消火訓練

防災体制支援事業…………… 20,509千円

旭市国土強靱化地域計画などに基づき、防災体制の強化・充実を図り、安全で災害に強いまちづくりを推進する。



整備が進む飯岡海上連絡道三川蛇園線

道路新設改良事業…………… 170,000千円

幹線道路を計画的に整備し、生活関連道路については、未改良部の舗装新設・拡幅などを実施する。

冠水対策排水整備事業…………… 32,616千円

イ・ニ地区の道路冠水対策として、排水施設を新設・改修する。

蛇園南地区流末排水整備事業…………… 322,877千円

同地区周辺の道路冠水被害を改善するため、道路排水の流末を整備する。

旭中央病院アクセス道整備事業…………… 299,296千円

旭中央病院周辺道路の渋滞解消と地域間の連携を強化するため、アクセス道路の整備を行う。

飯岡海上連絡道三川蛇園線整備事業…………… 82,056千円

産業振興や地域間交流を図るため、国道126号から主要地方道銚子旭線を結ぶ道路を整備する。

南堀之内バイパス整備事業…………… 16,151千円

地域産業の発展と生活基盤の活性化を図るため、国道126号から主要地方道大栄・栗源・干潟線までを結ぶ幹線道路を整備する。



公園で遊ぶ家族

社会体育施設改修事業…………… 99,500千円

市民が生涯を通じて、スポーツやレクリエーションを楽しむ、生きがいと健康づくりの向上を図るため、地域の交流の場となる社会体育施設の整備を行う。

3 ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり

定住交流の促進、安全で快適な道路の整備、良好な生活環境形成のための事業など

(新) ふるさと応援寄附推進事業…………… 6,122千円

ふるさと納税制度により、新たな財源を確保するとともに、市の特産品などを返礼品として送付することで、市の知名度向上や産業の活性化を目指す。

定住促進奨励金交付事業…………… 20,000千円

市の人口増加と定住化を図るため、移住を目的に新たに旭市へ転入し、新築住宅の建設・購入または中古住宅の購入をした人に、移住費用の一部として50万円を交付する。

市営住宅管理費…………… 29,911千円

災害公営住宅を含む市営住宅の維持管理に加え、災害公営住宅入居者などに対し、生活再建相談支援事業を行う。また災害公営住宅の家賃を、入居者が無理なく負担できる水準まで一定期間安くする。



旭市クリーンセンター

じんかい 塵芥処理施設運営費…………… 546,823千円

市内で発生する一般廃棄物の収集・処理のため、旭市クリーンセンターと旭市グリーンパークの適切な運営と管理を行う。